

皆さんに楽しんでもらい

そして 私たちも楽しむ

『十人十色の会』

第13回地域活動事例発表会

2021年11月15日(月)

近江八幡市総合福祉センター「ひまわり館」

滋賀県レイカディア大学米原校北近江文化学科39期生

「十人十色の会」事務局長 藤森 勉

1 「十人十色の会」の誕生

【会の名称について】

私たちの「十人十色の会」は、レイカディア大学米原校北近江文化学科39期生10名で活動しています。

10人それぞれが素晴らしい特色を持ち、それぞれの個性を発揮して、楽しく充実した大学生活2年間を過ごしてきました。

卒業するにあたり「卒業してからも、みんなで滋賀県の街道や宿場・城跡や神社仏閣などの史跡を巡りたいね」「みんなで高齢者施設や保育園を訪問して楽しんで喜んでもらいたいね」「そして、なによりいちばんは、10人が集まってワイワイと楽しく過ごしたいね」と、話が盛りあがりました。

まず、会の名前をどうしようかと相談をしました。

「ちょうど10人いるし、みんないろんな個性があるし、それぞれ得意なこともいろいろ持っているし、『十人十色の会』ってどうやろ」「うん、それいいな」「そうしょ、そうしょ」ということで、会の名前は『十人十色の会』と決まりました。

「宮商(きゅうしょう)和(わ)して自然(じねん)なり」という言葉があります。雅楽の音階で「宮」の音は西洋音階の「ド」にあたります。また「商」は「レ」にあたります。ドとレの音を一緒にならすと不協和音といってその言葉どおり本当なら響き合わないのですが、この2つの音が互いに響き合って、自然の音として聴こえてくるようなそんな会であり続けたいと願いつつ、「十人十色の会」と名付けました。

2 「十人十色の会」の組織と発足記念の会

【会の組織について】

メンバーは ・奥 勝治・高木仁志・田邊初美・堤 一博・橋田 茂
・福永 保・藤森 勉・宮口振英・安井照子・山川博民 の10人

会の役割分担は

《代 表》奥 勝治 《会 計》高木仁志 《事務局》福永 保・藤森 勉

【発足記念の会】

「十人十色の会」の晴れの門出に何もないので寂しいということで、発足記念の会を開催しようということになりました。せっかくの記念パーティーなので、誰か招いて記念講演をしてもらおうということになり、私の高校の同級生で「サンライズ出版」の代表取締役をしておられる岩根順子さんをお願いをすることになりました。電話で依頼をすると、快く引き受けていただくことができました。



3 「十人十色の会」 発足記念の会

当日は、岩根順子さんに30分余りの記念スピーチをしていただき、その後、岩根さんを囲んで祝宴を催しました。大学在学中の思い出話や滋賀県の文化や歴史、今後の「十人十色の会」の活動など話に花が咲き、宴は大いに盛り上がりお開きとなりました。

その後、第1回目の湖国探訪ということで北國街道と黒壁スクエアを探索しました。この、探訪には北近江文化学科40期生の方々も参加され、長浜の方もおられ北國街道についていろいろ教えていただき、一緒に史跡を巡り、最後は鯖ぞうめんと地酒で楽しく過ごされた方もおられました。



4 「十人十色の会」の活動計画

(1) 活動日：原則として、毎月1, 2回集まる。

(2) 活動内容

① 「十人十色フィールドスタディ」

- ・街道や宿場、城郭、寺社、史跡などを巡って共に学び合い、今後の十人十色文庫に加える。

② 「十人十色文庫（移動文庫）」

- ・在学中に学習した内容をまとめる。
中山道、城郭、百人一首、御代参街道、課題学習本、ホームページ、大学祭展示などを参考資料とする。
- ・今後、活動する中で生まれてくる資料をまとめる（地域密着再編集作業）
- ・資料ファイル、冊子、パワーポイント、紙芝居、双六、カルタなどを集めた文庫とし、十人十色カフェや高齢者施設・保育施設などの訪問に活用する。

③ 「十人十色カフェ」の開催と施設訪問

- ・「十人十色カフェin〇〇」と名付けて、各地域を訪問する。
- ・高齢者施設や保育園などを訪問し、紙芝居やゲームなどをして楽しんでもらう。
- ・イベントを通じて、地域や施設の方々との交流を図る。
- ・移動先の地域の歴史や文化、施設の運営内容などについて、地域や施設の方々と共に学ぶ。

5 「十人十色の会」の活動①

(1) 「十人十色フィールドスタディ」

① 滋賀県の街道と宿場を巡る

- ・ 中山道・北國街道・北國脇往還
- ・ 朝鮮人街道・西近江路・東海道・鯖街道

② 県外の街道・宿場・城郭・史跡を巡る

- ・ 松坂城、伊勢街道、鳥羽城、伊勢神宮
- ・ 井伊氏本貫の地、井伊谷、龍潭寺、舘山寺、奥山方広寺、気賀関所跡、岡崎城、浜松城址
- ・ 北國街道、今庄、丸岡城、湊町三国、北前船主の館、敦賀金ヶ崎城跡、疋田宿、愛発舟川、塩津湊跡

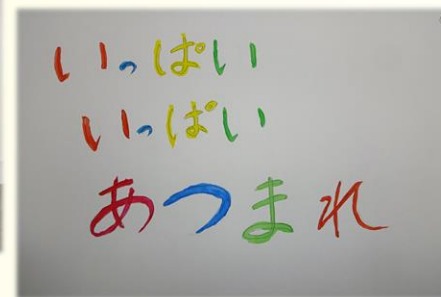
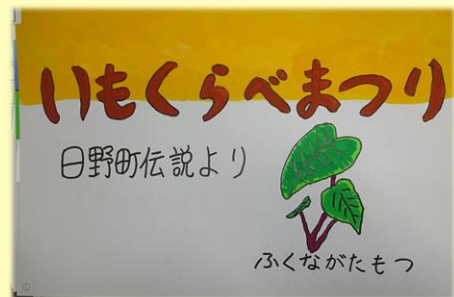
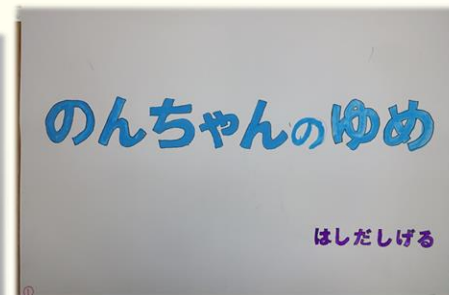


6 「十人十色の会」の活動②

(2) 「十人十色文庫」

① 在学中に学習作成した資料

- ・ 紙芝居、課題学習（御代参街道探訪、滋賀県の歌碑探訪）その他



7 「十人十色の会」の活動②

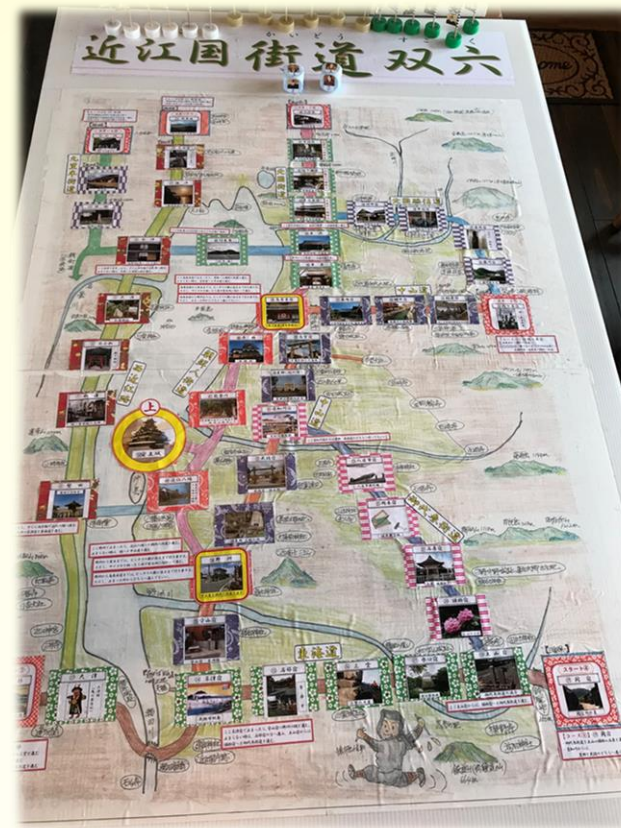
(2) 「十人十色文庫」

②卒業してから作成した資料 「近江国街道双六」

在学中に、谷口徹先生に宿場について学び、また、課題学習で、御代参街道をとりあげました。御代参街道は京都の公家たちが伊勢神宮と多賀大社へ代参を派遣するならわしがあり、その時に通った道ということで御代参街道と呼ばれたそうです。

これら、滋賀県内の街道と宿場を辿る双六を作ってみみんなで遊んでもらおうと考えました。そこで、月に1、2回、米原公民館に集まり、双六づくりを始めました。どの宿場を取り上げるか、大きさはどうするかなどから始まり、できあがるまで約半年かかりました。

絵は、メンバーの中にとっても上手な人がおり、おまかせして描いていただきました。



8 「十人十色の会」の活動②

(2) 「十人十色文庫」

②卒業してから作成した資料 「近江国街道カルタ」

また、「双六があるのならカルタもない」ということで、今度はカルタづくりに挑戦しました。

カルタは、双六のポイントである宿場に合わせて全部で50枚作りしました。取札はそれぞれの場所の写真や絵を使い、読み札の文は1人が5か所ずつ受け持ちました。

五十音をすべて使うことを基本として作った文を持ち寄り、全員で推敲して仕上げました。

ラベル氏に印刷して厚紙に貼り、カットして、10人全員の分を作りしました。



9 「十人十色の会」の活動③の1

(3) 「十人十色カフェin〇〇」 「施設などへの訪問活動」

① 「十人十色カフェin日野」

日野町の日野駅にあるコミュニティスペース「なないろ」で、お気軽にいつでもお越しくださいと地域の方に呼びかけて「カフェ」を開店しました。

「十人十色の会」のメンバーが案内・喫茶・交流の担当に分かれ、来店者の接客にあたりました。

当日は、午前10時から午後3時まで多くの来客があり、「近江国街道双六」やおりがみ・お手玉・けん玉などを楽しんでおられました。



10 「十人十色の会」の活動③の1

① 「十人十色カフェ in日野」

何人もの方が、コーヒーを飲みながら懇談を楽しまれていました。

午後はメンバーの福永保さんの「蒲生氏郷の城」の講演があり、熱心に聞き入っておられました。



1 1 「十人十色の会」の活動③の2

(3) 「十人十色カフェin〇〇」 「施設などへの訪問活動」

② 「十人十色カフェin四十九院」

また、私の地元、豊郷町大字四十九院の「いこいの家」でも「カフェ」を開店しました。

やはり、「十人十色の会」のメンバーが案内・喫茶・交流の担当に分かれ、来店者の接客にあたりました。

当日は、午前10時から午後3時まで多くの来客があり、「近江国街道双六」やおりがみ、お手玉、けん玉を楽しんでおられました。

特に、親子連れの方が多く、たいへん賑やかでした。



12 「十人十色の会」の活動③の2

② 「十人十色カフェ

in四十九院」

午後は、メンバー手づくりの紙芝居を上演。子どもはもちろん、大人の方もたいへん喜んでおられました。

また、大人の方々はお茶とお菓子をいただきながら懇談をされ、子育ての話やご近所話に花が咲き、思わぬ井戸端会議の場となり、区長さんも「とても有意義でした」と喜ばれていました。



13 「十人十色の会」の活動③の3

(3) 「十人十色カフェin〇〇」 「施設などへの訪問活動」

③ 「小規模特別養護老人ホーム のとがわ」への訪問活動

能登川にある「高齢者施設小規模特別養護老人ホームのとがわ」を訪問しました。

当日は、そろいのTシャツを着て訪問しました。職員の方と一緒に会場へ入ってこられた皆さんは、心なしかちょっぴり硬い表情で、少し心配しました。

しかし、紙芝居をいくつか上演するうちに緊張もほぐれてきたようです。

歌と手遊びを始めると、笑顔もこぼれはじめ、とても楽しんでもらえました。



14 「十人十色の会」の活動③の4

(3) 「十人十色カフェin〇〇」 「施設などへの訪問活動」

④ 「八宮こども園」への訪問活動

能登川にある「八宮こども園」を訪問しました。

保育室に入ると、かわいい子どもたちが笑顔で迎えてくれました。私たち全員が並んで「こんにちは！」と声をかけると、園児たちも負けじと大きな声で「こんにちは！！」と返してくれました。

紙芝居を始めるとお話に夢中になり、にこにこ話の内容に返事を返してくれ、終わると、「また来てね！」と可愛く送ってくれました。



15 「十人十色の会」の活動③の5

(3) 「十人十色カフェ inOO」

「施設などへの訪問活動」

⑤ 「小規模多機能居宅介護 しんぐう」への訪問活動

能登川にある「小規模多機能居宅介護しんぐう」を訪問しました。

ここでも、初めに紙芝居を上演し、最後に歌と手遊びで皆さんと楽しく活動しました。

初めは少しけわしい顔をしておられた方も、最後には一緒に手を動かして少しずつ参加をしていただけました。



16 「十人十色の会」の活動への思い

こうして、大学を卒業してからも、同じクラスであった10人が「十人十色の会」を結成し、月に1、2度集まっていろいろな活動をする事は、いまでは私たちの生きがいになっており、特に、施設や地域への訪問は何よりの楽しみになっています。

いろいろな市町や施設に出かけ、いろいろな方々と出逢い、皆さんの笑顔を見て私たちが笑顔になり、私たちの笑顔が皆さんの笑顔につながっていると思います。

そして、「皆さんに楽しんでもらい 私たちも楽しむ」ことが、「十人十色の会」の活動の原点でもあり、これからもこの活動を続けていきたいと思っています。



笑顔

楽しむ



高木仁志

高堤 一博

高福永 保

宮口振英

山川民博



高奥 勝治

高田邊初美

高橋田 茂

藤森 勉

安井照子